

『**精神病性障害関連遺伝子の解析研究**』では、以下のような研究を行っています。統合失調症をはじめとする精神病性障害では遺伝的要因が強く働いていることが明らかにされており、疾患感受性遺伝子を同定し、臨床症状と関連する遺伝子を見出すことを目的とします。これにより、新たな薬剤の開発や予防法の発見につながる重要な知見を得ることが期待されます。疾患が引き起こす生活障害の指標である Years Lived with Disability (YLDs) は、2019年時点で全世界でも日本でも精神疾患が第2位です。そこで、精神疾患の病態を解明し、その診断法・治療法を開発し普及することにより、精神疾患の克服とその障害の支援を行うことが必要とされています。その研究基盤として大規模な試料と情報を収集し、データベース・バンク化し、利活用するシステムを構築することが必要ですが、本研究でいただいた試料・情報を国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターの精神疾患データベースなどの公的データベースやバンクに登録します。

この医学研究で使用することについて個別の同意を省略いたします。プライバシー保護のため、個人が特定できないように記号化したうえでデータ解析等がなされます。

また、研究成果を公表する際にも個人名が特定されることはありません。ご自身のデータを研究から除外してほしい場合には、下記までご連絡ください。

〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840

奈良県立医科大学精神医学講座 准教授 牧之段 学

TEL : 0744-22-3051 FAX : 0744-22-3854